講義名	対)19～海外マーケティング研修/15～海外流通リテール研修					授業形態	
担当教員	清水　信年／秦　洋二／白　貞壬	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 ２時限				
		単位数	4	履修開始年次	２年生	ナンバリング	

主題と概要

日米の小売店舗比較を通じて、リテールマネジメントに対する理解を深めます。また、流通先進国である米国でのマーケティング最新事情に触れることを通じて、受講生の多くが将来のキャリアとして選択するであろう小売業におけるマネジメントへの関心を高めます。

当科目は、前期・月曜２時限の講義と、夏休み期間（９月前半、現地４泊６日を予定）における米国視察研修の、２部構成です（４単位科目）。前期期間において、リテールマネジメントの基礎や米国小売業事情についての講義、店舗観察の実習を行ないます。そこで学んだことをふまえて、夏休み期間にスーパーマーケットを中心とした米国の複数の小売店舗を視察し、日米の小売店舗比較分析を行ないます。

到達目標

＊ 店舗観察の手法について、実習を通じて身につけます。
＊ 流通先進国である米国の小売業について、自らの体験を通じて理解を深めます。
＊ ふだん利用している（日本の）小売業についての認識を、米国との比較を通じて相対化させることによって、新たなビジネス展開についての発想を広げます。

提出課題

＊ 前期期間の講義において、数回のレポート提出を課します。
＊ 米国視察研修における実習に関しても、レポート課題を設定します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

＊ 前期のレポート課題については、講師への質問機会を設けます。
＊ 米国視察研修の期間中は、同行する講師やコーディネーターによる解説や質問機会を逐次設けます。

評価の基準

＊ 前期期間の講義における数回のレポート：５０％
＊ 米国視察研修における実習：５０％
＊ 期末試験は実施しません。

履修にあたっての注意・助言他

＊ 前期期間の講義の受講のみ、あるいは、夏休み期間の視察研修への参加のみ、での単位修得はできません。
＊ 米国視察研修の参加には、渡航費・滞在費などを含めて25万円前後の費用を要します。
＊ 上記のことを含め、初回講義時にガイダンスを行なうので必ず出席してください。

教科書

.１からのリテールマネジメント.	清水信年・坂田隆文編著	碩学舎		

参考図書

.なし.				

その他

適宜、指示・配布します。

授業計画

1．当科目の狙いと受講ポイント
2．リテールマネジメントの基礎 ①
3．リテールマネジメントの基礎 ②
4．リテールマネジメントの基礎 ③
5．リテールマネジメントの基礎 ④
6．米国小売業の現状①
7．米国小売業の現状②
8．購入客の購買行動
9．実習：購買行動観察の基礎 ①
10．実習：購買行動観察の基礎 ②
11．実習：購買行動観察の基礎 ③
12．小売店舗の売り場観察
13．実習：売り場観察の基礎 ①
14．実習：売り場観察の基礎 ②
15．講義まとめ／視察研修に向けて

※ ゲスト・スピーカーの都合により順番が一部変更されることがあります。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	○	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

前期期間における15回の講義・実習内容はすべて、夏休みの視察旅行において、現地で受講生の皆さんに実施していただく実習につながるものです。各回において、当日の講義内容の復習をしっかり行ない、視察旅行にかける時間と費用が無駄にならないよう努めてください。

＊ 講義各回に関する予習・復習 ： 各2時間×10回＝20時間
＊ 実習各回に関する準備・振り返り ： 各2時間×5回＝10時間

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

商学部のディプロマ・ポリシーである「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これをもとに、企業マネジメントに関する問題探索、課題提案ができる」という点を、まさに実践する科目です。前期期間の講義で小売業の基礎知識を身につけ、それをもとに自身の問題意識をもって米国視察旅行にのぞみ現地でのフィールドワークを通じて理解を深めます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

講義中に行なう課題は基本的に、RyukaPortalでファイル提出するか、ウェブ上に用意した入力フォームで各自のＰＣやスマートフォン等を用いて記載していただきます。

実務経験の有無及び活用

備考